

平成 20 年 11 月 4 日

各 位

会社名 株式会社日本一ソフトウェア
 代表者名 代表取締役社長 北角 浩一
 (JASDAQ・コード番号：3851)
 問合わせ先
 役職・氏名 取締役管理部長 世古 哲久
 電 話 058-371-7275

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（連結・個別）
 業績予想との差異に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）の業績予想について、平成 20 年 5 月 15 日付「平成 20 年 3 月期決算短信（連結）」にて公表いたしました業績予想との差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異

(1) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益
前回予想 (A)	1,033	74	71	42
今回修正 (B)	1,033	102	110	54
増減額 (B - A)	0	28	39	12
増減率	—	37.8%	54.9%	28.6%

(2) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期個別累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益
前回予想 (A)	638	57	55	32
今回修正 (B)	560	△16	△10	△7
増減額 (B - A)	△78	△73	△65	△39
増減率	△12.2%	—	—	—

2. 差異発生理由及び通期業績予想

(1) 連結業績予想との差異

当第 2 四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、国内市場において当期より新規参入したニンテンドーDS タイトルの販売本数が予想を下回ったものの、海外市場において 8 月に発売した『DISGAEA3』（PLAYSTATION3 専用ゲームソフト）、9 月に発売した『DISGAEA』（ニンテンドーDS 専用ゲームソフト）及び『RHAPSODY』（ニンテンドーDS 専用ゲームソフト）の販売本数が好調に推移したことを主因として補うことができたため前回予想との差異はないものと見込んでおります。

営業利益については、海外市場において『DISGAEA3』等、収益率の高い当社国内ライセンスソフトのローカライズ版の売上高が好調であったことを主因として、前回予想 74 百万円に対し、28 百万円の増額の 102 百万円を見込んでおります。経常利益については、営業利益の増額に伴い前回予想 71 百万円に対し、39 百万円の増額の 110 百万円、四半期純利益についても同様の理由により、前回予想 42 百万円に対し、12 百万円の増額の 54 百万円となり、前回予想を上回る結果を見込んでおります。

(2) 個別業績予想との差異

当第 2 四半期個別累計期間の当社の売上高は、前回予想 638 百万円に対し、78 百万円の減額の 560 百万円を見込みでおります。これは国内市場において当期より新規参入したニンテンドーDS タイトルのリピート本数（追加受注本数）が当初予想を下回ったことが主因であります。

これに伴い、営業利益については、前回予想 57 百万円に対し、73 百万円の減額の△16 百万円、経常利益については、前回予想 55 百万円に対し、65 百万円の減額の△10 百万円、四半期純利益については、前回予想 32 百万円に対し、39 百万円の減額の△7 百万円となり、前回予想を下回る結果を見込んでおります。

(3) 通期業績予想

平成 21 年 3 月期の通期業績予想につきましては、当第 2 四半期累計期間の業績は順調に推移しているものの、世界的な金融収縮の影響や世界各国での需要減退が懸念され、厳しい事業環境が予測されることや、下半期（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）発売予定の商品の販売動向はいまだ不確定な要素を含んでいるため、平成 20 年 5 月 15 日に公表した当初予想を変更しておりません。今後の業績動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

平成 21 年 3 月期の業績予想は以下のとおりであります。

(連結)

売上高	2,863 百万円	(前期比 33.5%増)
営業利益	328 百万円	(前期比 0.4%増)
経常利益	316 百万円	(前期比 11.6%増)
当期純利益	188 百万円	(前期比 72.6%増)

(個別)

売上高	1,816 百万円	(前期比 20.6%増)
営業利益	236 百万円	(前期比 1.0%増)
経常利益	231 百万円	(前期比 27.1%増)
当期純利益	138 百万円	(前期比 174.5%増)

(注) 上記予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上